

男女共同参画社会推進委員会

当委員会の活動報告をいたします。

1. **学会保育室**の利用は、2014年春3月15日～18日（学習院大）申込み者2名，秋9月25日～28日（広島大）申込み者1名がありました。なお，保育料は1歳未満800円／時間，1歳以上600円／時間となっております。また申し込みはHPでできますが，当日，誓約書に保護者の自筆署名をお願いしております。

2. **女子中高生のための夏の学校**は2014年8月7～9日，国立女性教育会館にて開催され，当委員会の企画として，(a) 実験実習：清水理佳先生（群馬高専）による「結び目のゲームを作って遊ぼう」，藤村雅代先生（防衛大学校）による「見えない数?! 複素数の世界で絵を描こう!」（詳細は数学通信に掲載）(b) ポスターセッションは「結び方の数学」というテーマで大島委員を中心に行い，36ブース中3位と高得票を獲得(c) 「人間コンピュータ」の企画をされた柏原委員は来年度企画委員長(d) キャリアプランニング等について参加生徒と夜の部で交流，などの活発な活動ができました。

3. **女性数学者交流会の試行**を，2014年9月26日12時～14時，学会（広島大学）にて奈良女子大の嶽村智子さんのご協力により行い，10名の参加があり，和やかな雰囲気の中に情報交換を行いました。

4. **第12回男女共同参画学協会連絡会シンポジウム**が2014年10月4日（土）東大数理にて開催され，数学会は例年通りポスター参加をいたしました。グラフで示した数学会会員の女性比率，写真を掲載した夏学，保育室，女性数学者交流会，更には今回の幹事学会（下記参照）についての質問があり，多くの関心が寄せられました。

関連事項の報告です。日本数学会は2013年11月1日より2014年10月31日まで男女共同参画学協会連絡会の第12期幹事学会を拝命し，平田典子委員長のもと幹事学会として1年間の業務を行いました。2012年12月に行われた大規模アンケートの報告に基づく提言・要望書の作成を行い，内閣府・文科省等33カ所に持参説明，32カ所以上に送付いたしました。8月末の文科省科学技術・人材育成に関する概算要求には，これらが反映されました。要望書の詳細につきましては男女共同参画学協会連絡会HP：

<http://www.djrenrakukai.org/request/index.html> をご覧ください。

10月4日には男女共同参画学協会連絡会の恒例の行事である第12回学協会連絡会シンポジウム「女性研究者・技術者を育む土壌～連携・融合による支援をめざして～」を東京大学大学院数理科学研究科にて開催し，二つの分科会，ポスターセッション，全体会における板東久美子氏の基調講演，4名のパネリストによる「要望書の具現化に向けて」のパネル討論を企画・運営させて頂きました。参加者総数は210名余りとなり，東大数理の大講義室が満杯という盛会のうちに幕を閉じました。報告書は後日

<http://www.djrenrakukai.org/symposium1.html> にアップいたします。2014年11月1日をもって，幹事学会を第13期担当の日本植物生理学会・日本植物学会に引き継ぎます。

（男女共同参画社会推進委員会 委員長 宮岡礼子）